

ザ・チャレンジ

(大学受験編)



大学選びで重要なことは何だろうか? 「学びたいことが学べるか」「将来の目標に合った学部や学科があるか」「資格が取れるか」。これらに加え、近年重視されるのが「キャリア教育などの就職支援体制が充実しているか」だ。

2014年3月大学卒業者の就職率は94・4%、前年同期比で0・5ポイント上昇した。一方で、社会の多様化により、就職先のミスマッチが増え、早期に離職する者も増加した。厚生労働省の調査によれば、10年3月卒で就職した大卒者のうち、3年以内に離職した人は全体の31・0%に上る。また、内定を得たいと焦るあまりに目的意

Q. 大学選びで重要なことは?

- 大学選びのポイント
 - キャンパスの充実度・雰囲気
 - キャリア教育など就職支援体制
 - 就職実績
 - 奨学金・授業料免除など
 - 留学制度
- 学部・学科選びのポイント
 - 学問や研究の内容
 - 教授陣やゼミの充実度
 - 他学部・他学科との連携
 - 取得できる資格
 - 大学院への進学
 - 先輩たちの感想

識を見失う学生も多い。

そこでいわゆる「キャリア教育」に力を入れる大学が増え、学生が社会や自身の将来像を主体的に考える機会を設けている。また、経産省も「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3能力で構成)の育成を提唱している。

大学案内などでは次の点をチェックしたい。①低学年次からのキャリア教育科目・プログラムの充実度②個々の適性を知るための自

A. 近年は就職支援体制の充実度

自己診断テスト、学生の就業意識を高めるための就職ガイダンスやセミナーの実施状況を確認しよう②インターンシップ制度の充実度③企業インターンシップを通じて多様な業種・職業を発見したり、社会人と積極的にコミュニケーションを取る機会は非常に重要④学内企業説明会やOB・OGによるガイダンスの充実度⑤実際に就活を行うにあたって、関係者から話を直接聞く機会は多く確保したい⑥各種就職支援(エントリーシート、書き方指導、資格取得対策講座、面接対策指導など)の有無。

「2011年度に米国の小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在しない職業に就くだろう」。これは米デューク大学の研究者であるキャシー・デビッドソン氏が11年8月に語った予測だ。キャリア教育も重要だが、激動の世界を生き抜く中で皆さんに最も必要なのは「小手先のテクニックではなく、真の「人間力」である」と言うまでもない。

(CG高等館 東進衛星予備校)

※幼児教育と中学・高校・大学受験の各ステージでの情報を紹介。来週は幼児教育編。